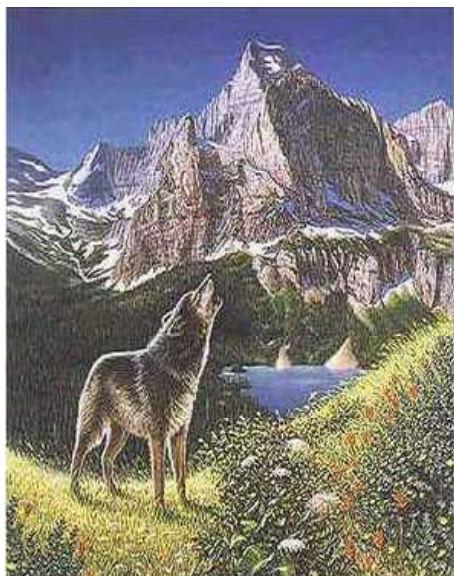


ものの変身

梅林中 一年 SK

今、私が見たものを、あなたは思うだろう。そして、あなた以外の人は、どう思うのだろう。一つのことを百人で見るとき、百人が百人、「同じものだ」と言うとは限らない。



左の絵を見てみよう。一回ぱっと見ただけでは、一匹のオオカミが遠吠えをしているとしか見えない、群れからはぐれてしまって、悲しんでいるのだろうか。あなたは、このオオカミを今、どう見ただろう。

おや、オオカミは一匹ではないではないか。あなたには気がついただろう。か、このオオカミが群れの仲間と連絡を取っているということに。注目すべき場所は後ろの山だ。山に顔を近づけるだけで、山の

かけやくぼみは数匹のオオカミに変身する。このように、距離を変えて見ることで色々な発見をすることは、

日々の生活にもあるのではないだろうか。例えば、あなたは今、森の中でカブトムシを探しているのでしょうか。木がたくさんありすぎて、いやになってしまふあなた。でも、自分の手前の目の前の木でも、よく見れば、カブトムシがいるかもしれない。

次に、また左の絵を見てみよう。ボールに入った色鮮やかな野菜。この野菜は、いったいどんな料理に変身するのだろうか。

八百十度回転させて見てみよう。さっきまでの野菜達は、料理に変身するのではなく、優しそうなおばさんに変身した。野菜をどう料理するかは、このおばさんに聞いてみてはどうだろうか。もしかしたら、素的なレシピを教えてくださいませんか。

このようなことも、日々の生活の中にはあるのだ。さあ、上を向いて見てみよう。今、あなたは空に浮かぶ雲を見て、何を思ったか。私



やあなたが見た雲について、他の人は、ほかの場所で、ほかのものとも見るであろう。見る人、見る位置が違うだけで、それは色々なものに変身するのだ。

距離や角度が違うことで、その物の別の面が見えてくる。だまし絵以外のものでも、きつと違う面が隠れているはず。日常の中でも、目をこらして見てみたら、実は気づいていなかっただけで、「あっ、そうだったんだ。」とか、「へえ、意外だったなあ。」などといういろいろな発見があるのではないだろうか。あなたも試してみるといい。今よりもっと発見の多い、楽しい毎日になるかもしれない。だって、様々なものが、いろいろな場所で、変身して隠れているのだから。